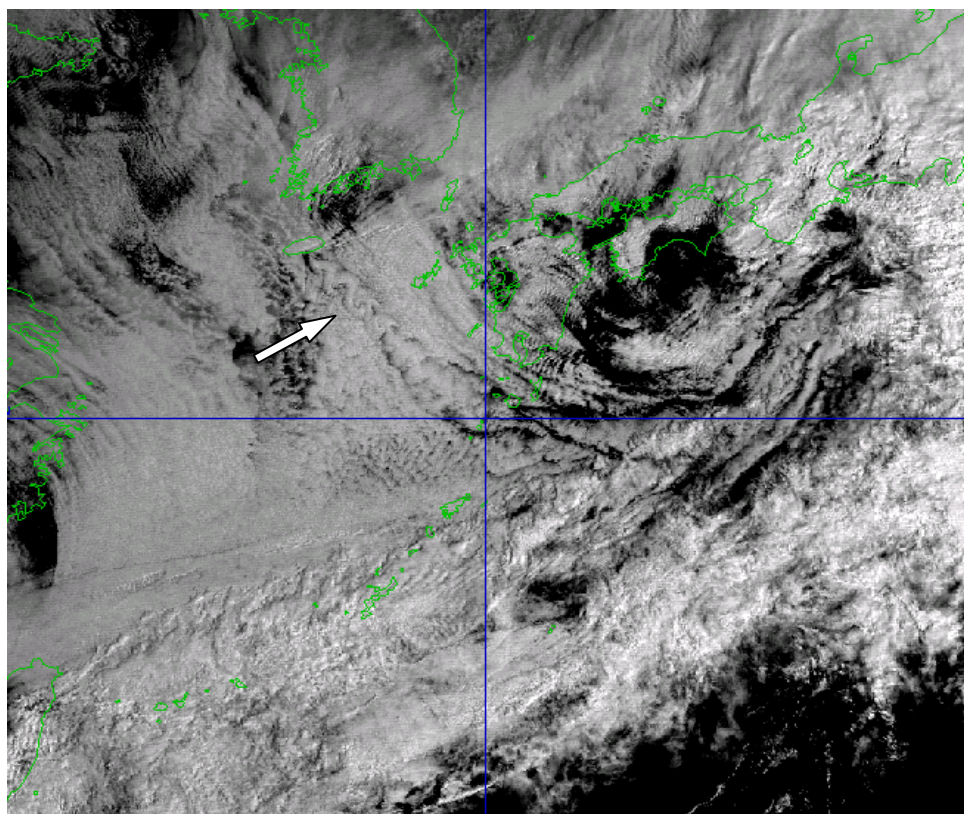


# 気象衛星画像

## －今月のトピックス－



2003年3月7日10時の可視画像

### チェジュ島の風下に現れたカルマン渦

写真は3月7日10時の可視画像である。韓国チェジュ島の南側から屋久島付近にかけては、房状につながった雲域（矢印）が見られる。これは「カルマン渦」と呼ばれる雲渦である。気象衛星から観測されるカルマン渦は、島の孤立峰等の風下に発生し、強い逆転層下にある層雲や層積雲で覆われた海域に見られることが多い。

この日の9時の地上天気図を見ると、紀伊半島付近には前線を伴った発達中の低気圧があつて東北東へ進んでおり、中心から伸びる寒冷前線が南西諸島の南海上へと達している。この寒冷前線の後面にあたる黄海から東シナ海にかけては北西の風が吹いており、この風に沿うように筋状に発生した雲頂高度の低い層積雲の雲域が、気象衛星画像からも確認できる。また、同日9時の那覇の高層観測データからは、高度約1500m付近に強い逆転層が見られた。この日は、カルマン渦の発生にとって好条件の日であった。

（気象衛星センター）